

## 各部活動の反省と来年度への展望

### 【研 修 部】

#### (1) 活動

- ア 第50回鹿児島県公立小・中学校教頭会研究大会をホテルウェルビューかごしま(全体会)・マリンパレス・サンロイヤルホテルの3会場(分科会)で開催した。第10期全国共通研究課題の研究方針に基づき、1日目の午後から全体会を、2日目に分科会という形で行った。出席者の協力を得ながら、滞りなく進めることができた。全体会では、「特別の教科道徳で求められているもの」の演題で、文部科学省初等中等教育局教科調査官の澤田浩一氏に講演をしていただいた。分科会では、グループ協議の時間を中心に活発な話し合いが行われた(11月16・17日)。
- イ 教頭会研究大会要項を作成し、会員には大会に向けて事前配布を行った。また、研究大会報告をホームページに掲載した。
- ウ 提言に向けて、事前打合せ会を2回実施した(5月19日、7月6日)。
- エ 地区ごとに「継続性、協働性、関与性」に焦点を当てた研究が推進され、提言が充実したものとなった。
- オ 第58回全国公立学校教頭会研究大会徳島大会(7月27日～7月29日)に参加した。
- カ 全国研究部長会(7月7・8日、12月1日)を受けて、第11期全国統一研究主題の初年度の研究を行った。
- キ 2回の地区研修部長会を行い(2回目は代議員も含む)、平成29年度以降の研究体制・研究組織・提言分担等について確認した。

#### (2) 来年度への展望

- ア 平成28年度の成果と課題及び改善点を明確にするとともに、第11期の1年目として研究体制を整える。さらに、組織的・効率的な研究を進めながら、第51回鹿児島県公立小・中学校教頭会研究大会(11月16,17日)の企画・立案、準備・運営に努める。
- イ 研修部長会を年2回開催し、各地区における研究の推進と深化を図るとともに、県大会に向けての準備・活動を計画的に推進する。(5月18日、2月2日)
- ウ 提言者等との事前打合せ会を2回(5月18日、7月5日)開催し、提言内容の審議・検討を行い、研究大会での提言の充実を図る。
- エ 各地区の積極的な研究の推進を支援する。
- オ 第59回全国公立学校教頭会研究大会(埼玉大会8月2日～4日)・第57回九州公立学校教頭会研究大会(宮崎大会7月27日～28日)への参加を促進する。